

# 「子どもたちの学習機会を確保するための対策について」

## 教職員アンケート結果

2020年6月2日

- 【実施者】 富山県教職員組合
- 【対象】 富山県内の小学校 166 校、中学校 71 校、義務教育学校 2 校 の分会
- 【実施期間】 2020 年 5 月 15 日（金）～5 月 21 日（木）
- 【実施方法】 各分会に 1 枚のアンケートを配布し代表者による回答を行った。回答に際し、分会で協議を行うか、代表者個人で回答するかは代表者に一任した。
- 【集計方法】 6 月 2 日までに、小学校 145 分会、中学校 60 分会、義務教育学校 2 分会から回答を得た。なお、統計処理の際、義務教育学校 2 分会のデータは小学校に含めた。  
数値による回答は集計を行った。ただし、無答、複数回答もあるため、回答数と合計数が合致しない部分もある。  
文章による回答は同様の傾向にあるものを集計者がまとめた。文章記述の最後の（ ）内には回答数を示したが、集計者の判断によるものであり、参考程度に留めていただきたい。

## 夏休みの期間縮小

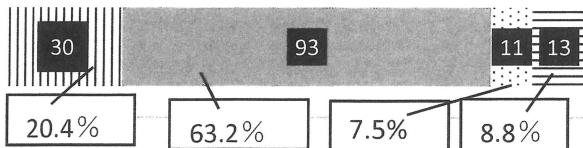
小学校

II 賛成

■どちらかといえば賛成

□どちらかといえば反対

=反対



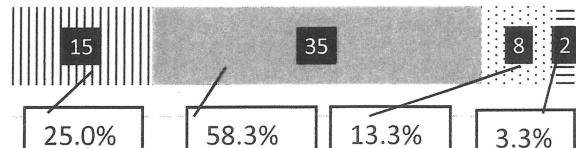
中学校

II 賛成

■どちらかといえば賛成

□どちらかといえば反対

=反対



おこなうとすれば期間はどれだけが適切か

	1週間	2週間	3週間	4週間以上
小学校	16 (13.2%)	62(51.2%)	33(27.3%)	9(8.3%)
中学校	5(8.3%)	30(50%)	14(23.3%)	11(18.3%)

### 《賛成の理由》

授業時数・学習機会確保のため(44)

やむを得ない(15)

ゆとりをもってすすめるため、つめこみ授業を避けるため(5)

負担が少ない方法であり、土曜授業や7时限までの学習よりはよい(3)

冷房が完備されているから(4)

保護者や子どもたちの理解を得られやすい(1)

### 《反対の理由》

登下校、体育館、グラウンドでの熱中症が心配(11)

夏休みには夏休みの意義があるし、子どもたちも休みたい(4)

冷房のある部屋に入れて三密を避けるのは困難(3)

主要な教科に絞れば夏休みを縮小する必要はない(2)

冷房のない教室がある(1)

### 《意見》

暑い時期の給食はやめてほしい(1)

教員も子どもも夏バテしないか心配(1)

夏休みの期間短縮を行う場合には夏休みに入っている研修は中止してほしい(1)

## 冬休みの期間縮小

小学校

□賛成

■どちらかといえば賛成

△どちらかといえば反対

□反対



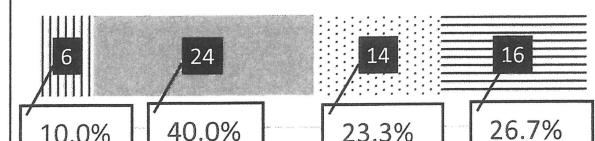
中学校

□賛成

■どちらかといえば賛成

△どちらかといえば反対

□反対



### 《賛成の理由》

少しでも授業数確保をするため(8)

年末年始のみである他の公務員と同様の休みであればやむを得ない(7)

今後、第二波やインフルエンザによる休校や学級閉鎖もあり得る(1)

### 《反対の理由》

年末年始は家庭の行事等があり、家庭教育の時間もある(21)

降雪や凍結の中での登下校は危険(9)

期間が短いためそれ以上の縮小は難しい(11)

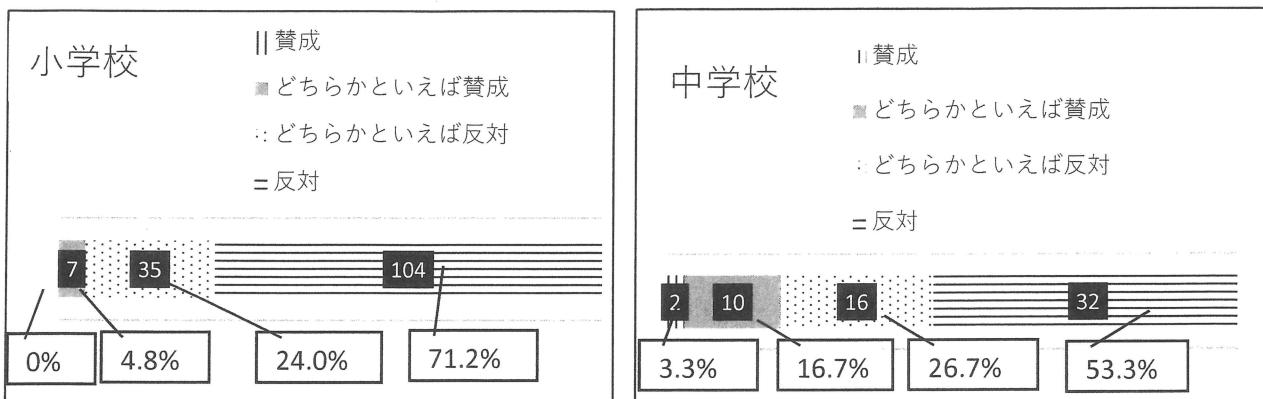
ウイルス感染症が発生しやすい時期である(5)

夏休みの縮減で対応した方がよい(6)

入試業務のため必要な時期である(3)

3学期の準備をする期間だから(1)

## 土曜授業



おこなうとすれば期間はどれだけが適切か

	月1回	月2回	月3回	月4回
小学校	61(57.5%)	30(28.3%)	1(1.0%)	14(13.2%)
中学校	25(44.6%)	24(42.9%)	2(3.6%)	5(8.9%)

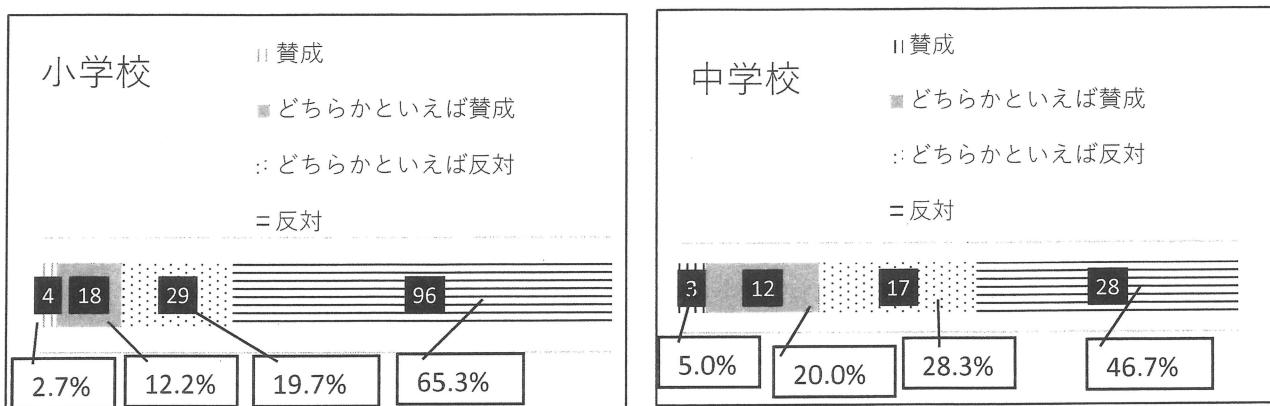
### 《賛成の理由》

- 授業時数確保のためあればやむを得ない(1)
- 今後、第二波やインフルエンザによる休校や学級閉鎖もあり得る(1)
- 月2回程度ならやってもよい(1)
- 以前はやっていた(1)
- 土曜授業をする週は部活動をしないのであれば賛成(1)

### 《反対の理由》

- 子どもたちのゆとりがなくなり負担が大きい・疲労がたまる(14)
- 教員の長時間労働につながる・週休日の振替が取れない(13)
- 土日の休みは子どもや家庭、教職員を含めた社会全体のリズムである(11)
- 習い事やスポーツ少年団活動との調整が必要になる(7)
- 欠席する子が一定数いることが予想される(4)
- やる気や集中力が保てず学習効果が期待できない(4)
- 部活動ができなくなる(3)
- 土曜授業が定着してしまわなか心配(2)
- まずは生活リズムを取り戻すことが大切(1)
- すでにやっているのでこれ以上増やしてほしくない(1)
- 滑川市で月に1回の土曜授業を経験したが負担が大きかった(1)
- 子どもも教職員も家族と過ごす時間は必要(1)
- 月～金の5日間さえ耐えられない子もいる(1)

## 7時間目



おこなうとすれば期間はどれだけが適切か

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回
小学校	65(70.0%)	17(18.3%)	5(5.4%)	1(1.0%)	5(5.4%)
中学校	13(38.2%)	13(38.2%)	4(11.8%)	1(2.9%)	3(8.8%)

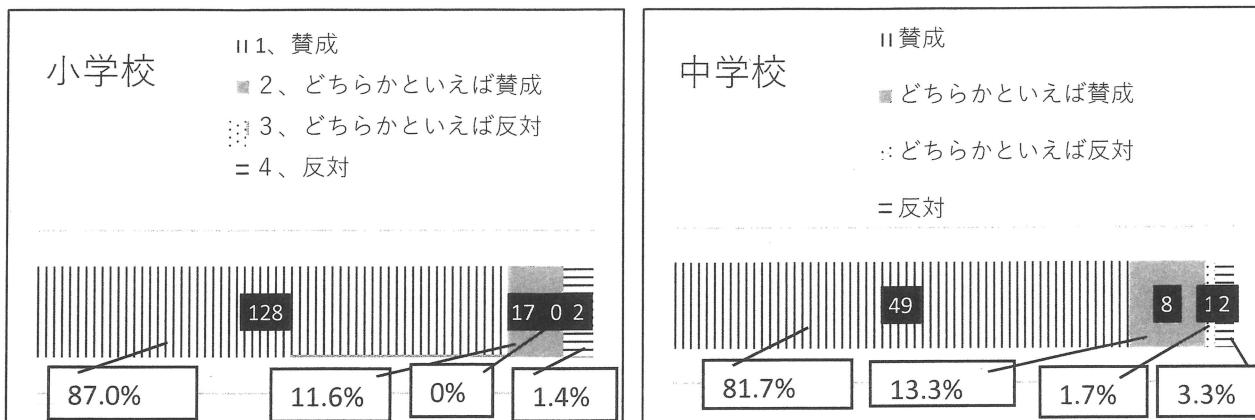
### 《賛成の理由》

- 運営上可能である、かつて実施した経験がある(4)
- 時数確保のためならやむを得ない(3)
- すべて短縮日課にしてリズムができるのならよい(1)
- 部活動を縮小するのであればよい(1)
- 短期間であればよい(81)

### 《反対の理由》

- 子どもたち（特に低学年）の集中力・体力・気力がもたない(32)
- 子どもたちにも教職員にも負担が大きい(23)
- 下校が遅くなり、暗くなると安全面が不安(6)
- 毎日7時間分の授業の準備をする時間が確保できない(5)
- 部活動や生徒会・委員会活動を行う時間が取れない(4)
- 他の校務・会議等に支障がある(4)
- 疲れを考えると効率が悪い(4)
- 休み時間やゆとりが確保できない(2)
- 40分授業では学ぶ時間が減る(1)
- 個別指導の時間が取れない(1)
- 今までさえ過密である(1)
- 時間割の組み直しが非常に難しい(1)
- バス通学の子がおり難しい(1)

## 行事の見直し



### 《賛成の理由》

- 行事の準備に多大な時間がかかる今のやり方を工夫すれば削減ができる(19)
- 教科等の学習を優先すべき(15)
- 三密を防ぎながら行事や準備をするのは困難(11)
- これまでが詰め込みすぎであり一度整理する必要がある(7)
- 卒業式、入学式も縮小してできた、すでに中止した行事もあるが大きな問題は発生していない(3)
- 非常事態でありやむを得ない(3)
- 働き方改革の一環としても見直しは必要(2)
- 教育効果を見極め、効果が薄いものは削ればよい(2)
- 行事で培う力は普段の生活の中でも伸ばすことはできる(1)

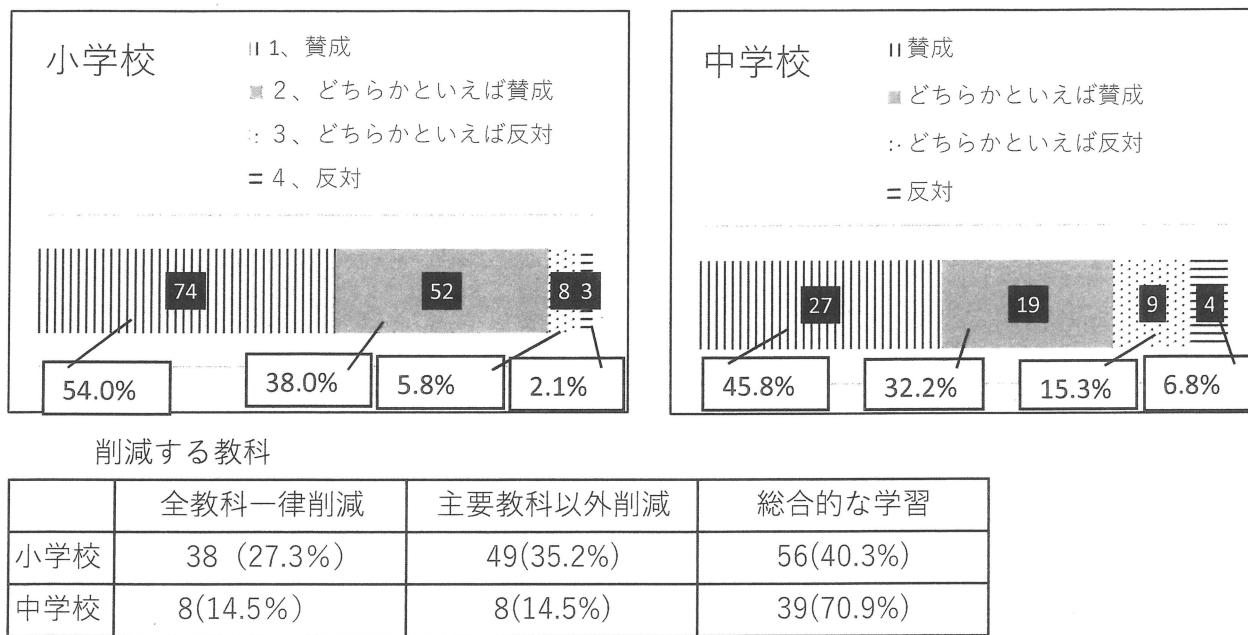
### 《反対の理由》

- 行事の中で成長する面はある(3)
- 子どもたちが楽しみにしている行事や思い出に残る行事は行いたい(2)
- 子どもたちのためにも行える範囲で行いたい(1)
- 学校が机上の学習ばかりにならないか心配(1)

### 《見直しが必要だと思う主な行事とその理由》

文化祭・学習発表会 (60)	練習や準備のために教科学習がかなり圧迫されている実態があり、保護者の参観による感染リスクもあるため実施は難しいという声が多かった。作品の展示のみにすればいいという意見もあった。
運動会・体育大会 (59)	練習や準備のために教科学習がかなり圧迫されている実態があり、保護者の参観による感染リスクもあるため中止するという意見と、半日開催など縮小して行うという意見があった。
合唱コンクール・音楽会 (24)	歌ったり、演奏したりすることが制限されており、実施は難しいという声が多かった。会場での3密も指摘する声もあった。
外部からの持ち込み行事 (27)	学校の教育課程を優先すべきという声が多かった。
宿泊学習・修学旅行 (25)	密にならざるを得ないことと、県外への移動はリスクが高いという声が多かった。

## 教科の時数縮小



### 《賛成》

総合的な学習の時間の時数を縮小すればよい(8)  
 活動が制限されている音楽や体育は他教科に振り替える(4)  
 時数を確保したかではなく、達成できたかを規準とすればよい(3)  
 重なっている内容もあるのでカリキュラムマネジメントで対応できるものもある(2)  
 カリキュラムが詰め込みすぎこれまで通りの方法で実施することは困難(2)  
 総合、道徳、音楽、体育、技術・家庭科などは次年度以降に補える(1)  
 無理にやろうとすると子どもにも教員にも心理的な負担が大きくなる(1)  
 コロナ対策をしながらではできない教科もある(1)  
 積み重ねが必要な教科を優先する(1)

### 《反対》

子どもたちの学習する権利は確保したい(1)  
 教えなければいけない内容が減っているわけではない(1)  
 基礎学力の定着のために時間数の確保は必要(1)  
 今年だけ特例にすると公平性が保てない(1)

### 《意見》

受験の公平性が保たれるようにしてほしい(1)  
 モジュールを導入しているが負担は大きい(1)  
 教科だけでなく情操教育も必要(1)  
 クラブを行わないという方法もある(1)

# 富山県教職員組合

## 教育委員会への要望

### 《教育委員会の方針について》

- 子どもたちや保護者が不公平感を抱くことのないよう、一定程度、県・市町村で統一した方針を出してほしい（24）  
少しでも早い決断をしてほしい（20）  
授業時数やカットできる内容など具体的に示してほしい（19）  
学校運営の簡素化、スリム化、教育課程の見直しをすすめてほしい（7）  
やめる決断、柔軟な対応をしてほしい（7）  
無理のある施策や教員に負担をかける施策はやめてほしい（4）  
第二波、第三波への対応を考えておいてほしい（3）  
授業進度について他市町村との調整や情報提供を教育委員会にしてほしい（2）  
学校の働き方改革を視野に入れて対策してほしい（1）

### 《具体的な要望》

#### ○主として子どもたちにかかわること

- タブレット・デジタル教科書・オンライン化などICT環境の整備を早急にすすめてほしい（7）  
中学3年生への対応（授業時数確保、入試範囲の早期提示）を確実に行ってほしい（7）  
感染防止の観点から、部活動を縮小・中止してほしい（2）  
市町村間で部活動の公平性を保ってほしい（1）  
「〇名を超えたら学級を2つに分ける」などの基準を教育委員会が示してほしい（1）  
子どもたちの座席の間に仕切りが必要なのではないか（1）  
子どもたちに負担のかからない方針を示してほしい（1）  
作成した授業動画をこれからもうまく活用してほしい（1）  
クラスを分けて学習した場合、教員が足りないので配置してほしい（1）

#### ○主として教職員にかかわること

- 学校訪問研修会、小・中教研を中止してほしい（20）  
通知表を年2回にしたり、記述を減らしたりするなど、評価に配慮してほしい（12）  
出張を削減してほしい、遠隔でできるようにしてほしい（3）  
消毒や給食の配膳などの人員（外部委託・ボランティア・雇用等）を確保してほしい（3）  
子どもや教職員の健康への対策を行ってほしい（2）  
教員が疲弊していくはよい教育ができないことを分かってほしい（1）  
休日をしっかり確保るようにしてほしい（1）  
休校期間中に行った学習を時数にカウントしてほしい（1）  
授業時数が不足していることに圧力をかけないでほしい（1）  
今年度は作品募集に対応できることを関係団体に周知し、夏休みの宿題にならないようにしてほしい（1）  
教職員の意見を聞いてほしい（1）  
学級を分ける分散登校は同じ授業を2回行う負担があり、進度も半分になるためやめてほしい（1）

# 学校再開にあたって気になること、心配なこと

## 《子どもの生活・感染防止に関すること》

- 感染から子どもたちを守ることがとても難しい (25)
- 様々な制約を受ける子どもたちのストレスとメンタルケア (18)
- 安全な給食の運営 (13)
- 子どもたちの生活リズムの立て直し (8)
- 感染を防ぎながらどのように学習をすすめるか (6)
- 掃除、消毒の人員や物品が足りない (5)
- 高校入試に関する不安や混乱 (5)
- 感染した場合の個人情報が守られるか、コロナいじめが心配 (5)
- 感染を心配する保護者・自主的に欠席する子の学習への対応 (4)
- 登下校、休み時間、部活動、行事など子どもが動く中での感染防止 (4)
- 子どもたちの学力に格差が生じているのではないか (2)
- 体育や音楽など三密が生じる教科の進め方 (2)
- 家庭によって子どもたちの状態がかなり異なるのではないか (2)
- 不登校が増えるのではないか (2)
- 感染防止を行いながら熱中症対策もしなければいけない (1)
- 卒業学年の子どもたちの思い出が失われるのではないか (1)
- 体験を通して学ぶ機会や情操教育の機会が失われていくのではないか (1)

## 《授業や教職員の働く環境に関すること》

- コロナ対策に相当な時間と労力を費やすなければいけない教職員の疲労 (11)
- 地域や保護者からの要求や圧力 (4)
- 教えなければいけない内容を終わらせられるか (3)
- 先生が焦って授業をすすめたり、詰込み授業になったりしないか (3)
- 生徒指導、個別の対応が増えるのではないか (2)
- 年休が取得できるか (2)
- 音楽や体育は後からやるのか、数年かけてとりもどす場合のすすめ方はどうするのか (2)
- 学校運営の中でそもそもやらなければいけないことが多すぎる (1)
- 学習内容を次年度以降にもち越した場合の申送りが確実にできるか (1)
- 授業時数を「数字合わせ」で行ってしまうのではないか (1)

## 《学校運営に関すること》

- 第二波、インフルエンザによる休校、学級閉鎖もありえる (4)
- 9月入学が行われるのではないか (3)
- 教育委員会や校長から急な変更を言われる (2)
- 校長の出す方針に無理がある (2)
- 教育委員会の方針が学校任せになっており負担が大きい (1)
- 管理職には今まで通りのやり方を変える柔軟な考えをもってほしい (1)
- 文部科学省の対策が遅く、見通しがもてない (1)
- 教室を2つに分けると教員が足りない (1)